



『自らの理解度を把握する』『教え合う』『意識を高め』『徹底的に基礎を固める』

「自分プロジェクト」と併行して徹底して行っているのが、学習における徹底的な基礎固めです。テストの点だけでは、本当の理解度を計ることはできません。パターンを覚えることで高得点を取れても、根本的な部分を理解できていない場合があるからです。中1、中2は、積み残しをしない。ことに主眼を置き、学力が高い生徒でも基本を繰り返すことを重視しています。毎終礼時には約30分かけて『振り返りシート』に毎日の学習の理解度を記録し、常に自身のレベルを意識させています。

また、放課後の自習室での学習を中1は全員参加としているため、自学自習の習慣が自然と確立

部附属病院などを訪れる社会見学、年3回の合宿などを実施しています。

「特にチーム学習では、こちらの想像をはるかに超えた成長が見てとれます。課題ごとに班を編成するのですが、単なる自主性や積極性だけではなく、置かれた状況や、他のメンバー内での自分の役割を判断する力が養われており、シチュエーションごとにリーダーが変わる様子には驚きました。20時間以上かけて取り組んだ、人生ゲームづくりでは、徹底的に話し合う姿勢など、仲間と一つのものを作り上げる過程で大切なことを学びます。その後は、この判断力の伸びるスピードが加速しています。ほかにも話を聴き、要点をまとめて書く力、仲間と協力して物事を解決していく姿勢など、『自分プロジェクト』で身につけたことを、教科の授業や放課後の自習時間にも活かせるようになってきました。中2からは、伝える力、をテーマに取り組んでいます。夏には基礎を終え、それ以降は応用の段階に入る予定です」

(6年一貫コース担当・中司延亮先生)

大きな効果を生むポイントは、

Reporter's Eye

夢を実現するうえで不可欠なのが、「目標を設定する力」です。同校では、夢やその実現に向けたステップを自由に書き込めるシステム手帳『自分レポート』を配布しています。「中1・中2は自分の限らない可能性を信じてほしい時期。書くことが多いほど、夢や目標が変わるほど、いろいろなことを吸収しているという証ですから、どんどん書き込んで思いを膨らませてほしいですね」と中司先生。生徒からは「先生からいろいろな話を聴くうちに、国家公務員を目指そうと思うようになった」「社会人講座で弁護士の仕事に興味があった」などさまざまな夢の話が飛び出し、同校の目指す「実現力」が着実に培われていることを実感しました。

「以前は人前になると緊張して顔が赤くなっていましたが、発表の機会が多いので、自然と克服できたように思います」(中2 U.Sさん)

「人生ゲームづくり」を体験して、自分の仕事が終わったからといって後を人任せにせず、新しく仕事を探して進めていくことの大切さを学びました」(中2 T.Mさん)

「商品PRに取り組んだときには、情報が多いもの、逆に少ないものがあり、それぞれの苦労を味わいました。情報の集め方、まとめ方を学べたと思います」

(中2生 U.Rさん)

各自が達成感を味わいながら、自分の着実な成長を実感している様子が伝わってきました。

「質問が出れば、どこがわからないのか、を全員で考えて解決するスタイルをとっていることに加え、『自分プロジェクト』での人間的成長も追い風となって、わからなければ聞かないと損、質問することは恥ずかしいことじゃない、みんなで教え合う、という雰囲気が出ています。今は形となって現れる段階ではありませんが、目には見えませんが、目には見えな

社会で活躍するための 「人間力」と夢をかなえる 「実現力」を育む

同校は少人数制ゆえに、教員が一人ひとりをしっかりとフォローできるのが、生徒たちは安心して勉強や『自分プロジェクト』に取り組んでいます。

「質問が出れば、どこがわからないのか、を全員で考えて解決するスタイルをとっていることに加え、『自分プロジェクト』での人間的成長も追い風となって、わからなければ聞かないと損、質問することは恥ずかしいことじゃない、みんなで教え合う、という雰囲気が出ています。今は形となって現れる段階ではありませんが、目には見えませんが、目には見えな



「以前は人前になると緊張して顔が赤くなっていましたが、発表の機会が多いので、自然と克服できたように思います」(中2 U.Sさん)

「人生ゲームづくり」を体験して、自分の仕事が終わったからといって後を人任せにせず、新しく仕事を探して進めていくことの大切さを学びました」(中2 T.Mさん)

「商品PRに取り組んだときには、情報が多いもの、逆に少ないものがあり、それぞれの苦労を味わいました。情報の集め方、まとめ方を学べたと思います」

(中2生 U.Rさん)

各自が達成感を味わいながら、自分の着実な成長を実感している様子が伝わってきました。

こう育てます!

中高6カ年 一貫教育のビジョン

四條畷学園

大学受験と人生における基礎を実践的、多角的に培う『自分プロジェクト』

人生を切り拓き、夢を実現させる力を育むため、2010年度よりスタートした「6年一貫コース」。その基軸となっているのが、社会で活躍できる人間を育てる、というコンセプトのもと、自己実現に向けた人間形成を図る独自のプログラム『自分プロジェクト』です。

「自分プロジェクト」は毎週土曜日の3・4限目に設定されており、約10名の教員が、カリキュラムの企画・構成から実際の指導に至るまで、すべてのプロセスに携わっています。中1では、聴く力、まとめる力、考える力、をテーマとしたチーム学習のほか、医学博士や弁護士、建築士などによる社会人講座、京都大学や大阪大学医学

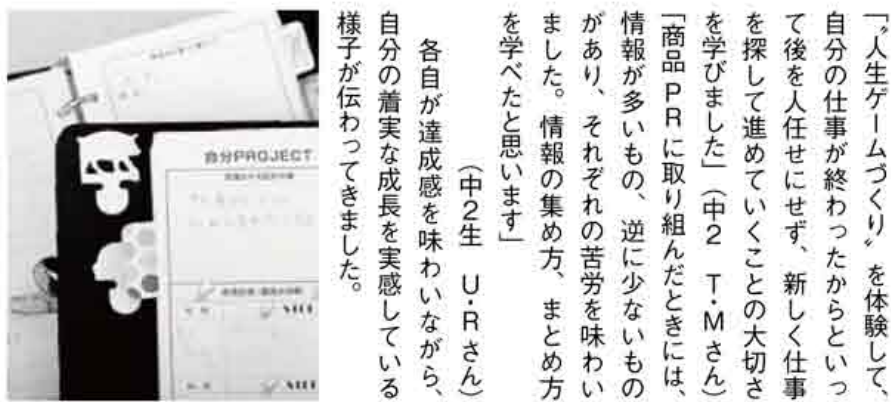


部附属病院などを訪れる社会見学、年3回の合宿などを実施しています。

「特にチーム学習では、こちらの想像をはるかに超えた成長が見てとれます。課題ごとに班を編成するのですが、単なる自主性や積極性だけではなく、置かれた状況や、他のメンバー内での自分の役割を判断する力が養われており、シチュエーションごとにリーダーが変わる様子には驚きました。20時間以上かけて取り組んだ、人生ゲームづくりでは、徹底的に話し合う姿勢など、仲間と一つのものを作り上げる過程で大切なことを学びます。その後は、この判断力の伸びるスピードが加速しています。ほかにも話を聴き、要点をまとめて書く力、仲間と協力して物事を解決していく姿勢など、『自分プロジェクト』で身につけたことを、教科の授業や放課後の自習時間にも活かせるようになってきました。中2からは、伝える力、をテーマに取り組んでいます。夏には基礎を終え、それ以降は応用の段階に入る予定です」

(6年一貫コース担当・中司延亮先生)

大きな効果を生むポイントは、



「以前は人前になると緊張して顔が赤くなっていましたが、発表の機会が多いので、自然と克服できたように思います」(中2 U.Sさん)

「人生ゲームづくり」を体験して、自分の仕事が終わったからといって後を人任せにせず、新しく仕事を探して進めていくことの大切さを学びました」(中2 T.Mさん)

「商品PRに取り組んだときには、情報が多いもの、逆に少ないものがあり、それぞれの苦労を味わいました。情報の集め方、まとめ方を学べたと思います」

(中2生 U.Rさん)

各自が達成感を味わいながら、自分の着実な成長を実感している様子が伝わってきました。